

【教育に関する意見】

- 2020年からGIGAスクール構想が本格始動したが、教員不足の中、新しい時代に向けた教育・人材育成は教員だけでは不十分。また、沖縄のこどもたちが沖縄の産業の魅力や可能性に気付かないまま卒業し、後継の道に進んでいない現状もあり、様々な業界での次世代教育が重要。

【第39回審議会】

- 教育現場の実態を把握した上で、教育の質の向上や体系的・戦略的な人材育成等が必要。

【第40回審議会】

- 学校現場における教員不足の問題や、保育施策が増えれば増えるほど保育士の確保が難しくなるといふ課題が生じている。結局、何をするかは多く議論されるが、それをどう実施に移していくかという点が置き去りにされている。今も人手不足だが、未来を支える人材の不足はもっと増していく。ハード面でもソフト面でも色々な所に不足があるということを視野に入れる必要がある。

【第22回総合部会専門員会】

【人材育成に関する意見】

- 産業の生産性と国際競争力を支える役割として、IT人材が沖縄振興の鍵になる。【第39回審議会】
- 人材不足が深刻であり、今を担う人材も未来の地域・産業を担う人材も不足している。人に焦点を当てた取り組みは時間がかかるため、沖縄の未来のためにも優先的に始めるべき。【第39回審議会】

【人材育成に関する意見 続き】

- リスキリング、AIに対応したプロンプト設計、STEAM教育などを早期のうちに進めることが必要。
【第39回審議会】
- これからの政策は量から質へ変化していくことが必要。例えば情報通信産業だと、企業数・雇用者数は増えてきたもののコールセンターなどの下請け業務が多いのが現状であり、そのような仕事は今後AIに取って代わられる可能性が高い。AIを逆に活用・構築するような立場となる人材の育成が必要。それによりAI、あるいは最先端の情報技術、最先端のDXを導入した結果、地方でどのような変化が起きるのかという新しいロールモデルとなるのではないか。【第39回審議会】
- 働き方改革、生産性向上及びこれを実現する人材育成、リスキリング教育などの推進を大きな柱として前面に出して取り組んでいくべき。労働生産性を高めていくことで無理なく働く環境が整い、自ずと女性も適材適所で能力をさらに発揮できるようになる。【第39回審議会】

【文化に関する意見】

- 魅力ある沖縄文化を、沖縄県民だけでなく広く享受できるようにするための取り組みが必要。ほかの分野とも連携しつつ、ポジティブにグランドデザインを描くべき。【第39回審議会】
- 文化や国際交流の分野においても、高齢化に伴い後継者の確保が一層重要。プロの演者による芸能と地域の人々による芸能、また地域ごとのそれぞれの取組みに目を向けることが重要。
【第40回審議会】

【文化に関する意見 続き】

- 文化に携わる人材が不足しており、文化そのものが衰退していくのではないかと強い危機感がある。文化は貨幣経済的な利益を生み出す以前に、心のよりどころとなる大きな価値を持っている。
【第22回総合部会専門委員会】
- 文化のビジネス化は文化衰退に貢献してしまうこともあるため、折り合いをどのようにつけていくかが重要。【第22回総合部会専門委員会】

【国際交流に関する意見】

- 外国ルーツのこども達への支援を考えるべき。高校まで支援しても県外に流出してしまうため、島を上げてキャリア支援、国際性を考えていくべき。【第22回総合部会専門委員会】
- 外国ルーツの人たちとのネットワークつくっていくことが重要。【第22回総合部会専門委員会】
- 世界中にいる県系人と手を取り合い、よき沖縄をつくる大きな力としていくことが重要。
【第22回 総合部会専門委員会】